

同 志 社 大 学

2013 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014 年 3 月 17 日提出

所 属	職 名	氏 名
グローバル・コミュニケーション学部	教授	窪田 光男
研 究 題 目	第二言語学習者のアイデンティティ再構築に関する分析	
研 究 成 果 の 概 要	<p>ひとは自分が何ものであるかということについて言語を用いて認識し、また他者に伝達するが、新たに第二言語を学習すると、学習者はそれまでに培ったアイデンティティを再構築することを迫られる可能性がある。この言語習得過程で学習者が経験するアイデンティティの再構築における葛藤を明らかにすることが私の研究の目的である。</p> <p>これまでの私の研究は、文献のレビューが中心であったが、2013年度は、これらをもとに英語圏に留学を経験し、第二言語（英語）を習得した経験のある 26 名の学生から書き言葉という形式で自分自身の言語習得の過程を振り返る語るデータを収集した。これらのデータから、第二言語習得の過程で、学習者ごとに多様な過程を経ながら第二言語におけるアイデンティティの再構築をしていることがわかった。また、自分自身の第二言語習得過程を言語化する際に、社会で広く受け入れられている「効果的、あるいは理想的な言語習得」のディスコースの縛りを受けることもわかった。さらに、これらのデータから、今後さらに焦点を絞ってインタビューをする際の質問作成や、質問紙を作成する際のアイディアを得ることができた。</p>	